

令和8年度 社会福祉法人すいよう会 障がい福祉部門
 (社会福祉事業)
 「多機能型事業所すいよう作業所」事業計画(案)
 従たる事業所「陽だまり」

1. 運営方針

- ① ご利用者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って福祉サービスを提供する。
- ② 事業所は、地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、福祉サービスを提供する関係機関等と連携及び協力をを行い交流に努める
- ③ 正当な理由なく利用申し込み者に対して事業所サービスの提供を拒否しない

2. 事業目標

① 就労継続支援 B 型事業 定員13名

働く喜び 得意とする作業内容の提供および役割や達成感を共に感じる	工賃向上 作業料金の見直し、コストの削減を意識しながら工賃向上に努めていく 目標工賃額¥25,000	法人連携 法人各部署との業務連携を行いご利用者の作業スキルの向上に努めステップアップを図る
--	--	---

② 生活介護事業 定員27名(主たる19名 従たる8名)

働く喜び 得意とする作業内容の提供および役割や達成感を共に感じる	健康 高齢化等に伴い健康観察や服薬確認、体を動かす機会の提供、家庭との連携	活動 ご利用者主体の活動を計画し、楽しさや生きがいを感じる
--	---	---

③ 共通事項

障がい特性 特性に応じた日中のサービス提供について研修・検討していく	意思決定 ご利用者一人一人の思いを汲み取りながらサービスの提供に努める	関係機関との連携 仕事面や生活面に関して関係機関と連携しながら情報共有し必要なサービスを提供していく
--	---	--

④ 活動(感染症対策をふまえ)

事業所内外 季節に応じた活動を中心に組み み、個別の活動も進めていく	地域活動 中郷、神郷地区等、地域との連携協 力をしながら取り組んでいく。 各種行事
--	--

◎ボランティアの受け入れを積極的に行い、障がいの理解啓発、風通しの良い事業所を目指してい
く。

⑤ 個別支援計画について

サービス管理責任者を中心にご利用者の特性に応じた支援計画を作成し、実践していく。
また、計画相談事業所とも連携しニーズや必要なサービスの提案等実施していく。

⑥ 職員処遇について

●スキルの向上 ○管理職(主任)

・常に全体最適を考慮して判断する
・正確な現状の把握と早期の課題解決を行う
・人間性と専門性の向上に努め、分け隔てなくご利用者・職員の状況把握を行う
【業務知識・瞬時の判断力・企画力・折衝力・指導力・調整力等】

○職員

・ご利用者の特性を把握し、個別対応力 ・自ら率先する行動力
・担当業務を熟知する
・担当業務以外も臨機応変に対応する
【行動力・業務知識・判断力・協調性・責任感・規律性】

○スキル向上に向けた取組

マイケアプランの作成 一年間の自己目標を設 定し自己研修に努める	チーム力の強化 職員全体が臨機応変に 対応する適応力を向上 していく	健康面 自己の体調管理を行う とともに、有給が取りや すい職場環境
--	---	--

職員面接

年3回の個別職員面接を実施。その際、各職員の考え方や現状について把握し、各職員
からの提案や改善点について聞き取り事業運営に反映。また、自己点検票にて振り返り
を実施するとともに、マイケアプランの目標に対する自己評価や達成度合いの見返し。

●職員研修

- ・職員会毎月第3木曜日 常勤職員会 随時 主任会 随時
- ・虐待防止員会 年4回以上 第1木曜日 その他必要に応じて
- ・身体拘束適正化委員会 年4回以上 第1木曜日 その他必要に応じて
- ・感染症対策委員会 年4回以上 感染症に関する研修・訓練 必要に応じて
- ・業務継続に係る委員会 それに伴う研修・訓練随時
- ・生産性向上に向けた各種委員会

障がい特性 ご利用者の皆様の障がい特性に応じた支援の在り方 ・強度行動障がい ・精神障がい ・発達障がい ・高次脳機能障がい	制度 総合支援法をはじめ各種の法令に関する見識を深め法令遵守 ・労働基準法・食品衛生法等・消防法 ・交通安全基本法・道路交通法等
ヒヤリハット・事故等 日常生活上でのリスク等について研修を重ね職員一人一人の意識向上に務める	虐待防止 障がい者に対する虐待について ・虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会の実施
意思決定支援 利用者一人一人の意思決定の支援に配慮し、意思決定に困難を抱える利用者の意思及び選好、判断能力等の把握に努める	業務継続計画 災害 平時より災害対策の推進を図りBCPを作成し研修・訓練を実施していく。また、作業等で所外に行くこともあるので色々な場面や状況を想定して研修・訓練を実施する
業務継続計画 感染 新型コロナウイルス感染症での経験を踏まえ各種感染症や今後新たに発生するであろう感染症に備えた研修、訓練を実施する	処遇改善加算取得に伴う生産性向上 職員の処遇や職場環境の見直し、整理整頓等を向上していくために定期的に委員会を開催し改善点の拾い出し及び改善策を模索しより良い労働環境を目指していく

⑦ 従たる事業所「陽だまり」の修繕及び ICT 化の取入れについて

⑧ 新規事業について

地域における必要な事業については検討し、今後の事業計画に取り入れていく。

- ・計画相談事業所・日中活動事業所(生活介護・就労 B) ・短期入所・障がい児サービス 等

⑨ 旧作業所について

(収益事業)
「グループホームすいよう」事業計画(案)

●事業方針

現在、賃貸借契約を取り交わしている「NPO 法人まぜ」と連携しながら地域の障がいのある方の生活支援を共有していく。また、ホーム利用の障がいのある方が快適に生活を送れるよう建物の整備等しっかり行っていく。

「ルピナスすいよう」事業計画(案)

●事業方針

入居されている障がいのある方が安心して生活を送れるよう、計画相談事業所、居宅介護事業所と連携していく。また、作業所のスタッフも定期的に訪問し、日常生活上の相談等に関して解決していく。

I. 基本方針

少子高齢化の進行及び人材不足が一層深刻化する中、持続可能な運営体制確立を最重要課題と位置付け、以下の4項目を重点方針とする。

1. 人材確保と定着の強化
2. 業務の生産性向上
3. ICT 機器の積極的活用
4. 感染症対策の強化

ご利用者の尊厳を守り、安全・安心で質の高いサービスを提供するとともに、職員が働きやすく成長とやりがいを実感できる組織作りを推進する。

II. 重点項目

1. 人材確保・定着対策

（1）採用力の強化

- ・ハローワークとの連携強化
- ・求人媒体の見直し（WEB 求人の強化）
- ・外国人材の受け入れ推進（留学生、特定技能等）
- ・隙間バイト（カイク）の活用による柔軟な人員確保
- ・施設見学会、就職説明会の定期開催（年4回、駅までの送迎対応）

（2）定着率向上

- ・更なる賃上げ（最賃上昇に伴い、全職員の賃上げを予定）
原資：賃上げ・職場環境改善補助金及び処遇改善加算
- ・新人職員教育プログラムの体系化
- ・教育担当者制度の継続実施（※教育担当者の手当て見直し検討）
- ・年2回の個別面談実施
- ・有給休暇取得率60%以上を目標（現在約50%）

（３） 職員満足度向上

- ・業務負担軽減の仕組み構築
（各事業所間情報共有強化による夜間携帯当番対応の軽減）
- ・ハラスメント防止研修の実施
- ・職員満足度調査（年 1 回）実施
- ・キャリアパスの明確化

【目標指数】

- ・年間離職率 10%以下
- ・採用充足率 100%
- ・職員満足度アンケート結果の前年度比向上

2. 生産性の向上

（１） 業務の標準化

- ・業務マニュアルの再整備
- ・OJT チェックリストの統一
- ・業務フローの見直し及び可視化

（２） 間接業務の削減

- ・記録業務時間の削減
- ・会議時間の短縮（原則 60 分以内）
- ・書類のペーパーレス化推進

（３） 業務改善活動の推進

- ・月 1 回の業務改善ミーティング実施
- ・ヒヤリハットの分析・共有による事故防止

【目標指数】

- ・超過勤務時間 10%削減
- ・業務改善提案件数年間 20 件以上

3. ICT 機器の活用

（１） 介護記録の ICT 化推進

- ・タブレット端末の活用定着

- ・音声入力の導入検討
- ・リアルタイムでの情報共有体制の構築

（２）見守り機器の活用

- ・センサー、カメラの全床導入検討
- ・センサー、カメラの効果検証（一部導入済箇所）
- ・夜勤業務負担の軽減

（３）情報セキュリティ対策

- ・年１回の情報セキュリティ研修
- ・パスワード管理およびアクセス権限管理の徹底

【目標指数】

- ・ICT 活用率９０％以上
- ・記録時間 １ 日 30 分削減

4. 感染症対策

（１）平時からの備え

- ・BCP（業務継続計画）の見直し
- ・年２回の感染症対応訓練実施
- ・備蓄品の定期点検（３か月ごと）

（２）標準予防策の徹底

- ・手指衛生マニュアルの遵守徹底
- ・防護具着脱訓練の実施
- ・感染時対応マニュアルの見直し（ゾーニング体制の再確認）

（３）職員の健康管理

- ・ワクチン接種推奨
- ・体調報告の徹底
- ・出勤停止基準の明確化

【目標指数】

- ・クラスター発生ゼロ
- ・施設内感染拡大防止体制の確立

5. その他

(1) 設備の更新

- ・特養アソカ園 浄化槽入れ替え（85 万）
- ・ケアハウス白寿 外壁工事（約 880 万）
- ・デイサービス エコキュート（約 400 万） 送迎車（約 400 万）

Ⅲ. まとめ

令和 8 年度は、「人材不足時代を生き抜く体制構築の年」と位置付ける。

人材確保と ICT 活用を両輪とし、生産性を高めるとともに、感染症に強い施設運営を実現する。

職員一人ひとりが誇りとやりがいを持ち、ご利用者が安心して暮らせる施設作りを推進する。

以 上

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): アソカ園(入所・短期)

令和8年度目標:一日平均(特養49名、短期12. 5名)人

NO. 1

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)		
1		安定運営 に向けて	ICTによる業務の効率化 (見守り機器の導入)	奥野谷 柴田 主任 リーダー 相談員	計画	見守り機器稼働 定期的にオペレーションの見直し、変更													業務改善と業務の効率化によるコスト削減		
						機器導入支援研修 施設見学 ICT及び生産性向上研修 機器導入支援研修															
						補助金申請準備、見積作成 ICT機器展参加 補助金交付決定 見守り機器、見守りカメラ導入 ICT機器展参加															
					実施																
			特定技能実習生受け入れ(ミャンマー)	奥野谷 柴田・主任 リーダー	計画	受入れ	面談	面談	面談	面談	来年度採用面接(現地・リモート)	受け入れ準備								技能実習生等、外国人人材の採用による人材確保	
					実施																
			外国人職員の教育体制の確立	奥野谷 柴田・主任 リーダー	計画	外部日本語教育の情報提供 内部での介護技術研修及び日本語教育の実施 外部研修等への参加													外国人人材の介護の質向上と働きやすい職場環境作り		
					実施																
			介護報酬改定に伴う加算の算定	奥野谷 柴田・主任 リーダー	計画	加算関連の見直しとLIFEの運用													介護の質の向上と収入増		
					実施																
			利用者数目標(入所)	奥野谷 柴田・主任 リーダー	延べ	1470	1519	1470	1519	1519	1470		1519	1470	1519	1519	1372	1519	適正な入所検討会の継続と次期入所者の準備及びベッド管理による安定した収入の確保		
					1日	49	49	49	49	49	49		49	49	49	49	49				
					実施																
					利用者数目標(短期)	奥野谷 柴田・主任 リーダー	延べ	390	434	390	434	434	420		403	390	341	341		308	341
							1日	13	14	13	14	14	14		13	13	11	11		11	11
実施																					
2		職員処遇 の向上	有休消化率の向上	施設長 主任 リーダー	計画	18日有休消化 → 22日有休消化 → 22日有休消化 → 15日有休消化 18日有休消化													パート、正職員全員7日以上有休消化		
					実施																
			働き方アンケートの実施	施設長 主任 リーダー	計画	アンケート実施 随時働き方の見直し・更新													個人にあった働き方に配慮するジョブ型雇用の実現		
					実施																

※令和8年度目標については、部署の数字に合わせて随時変更してください(延べ、一日平均、人、件数、時間・・・等)

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): アソカ園(入所・短期)

令和8年度目標:一日平均(特養49名、短期12. 5名)人

NO. 2

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
3		行事の充実	感染対策緩和に応じた行事計画の作成	リーダー 行事担当	計画	花見 ドライブ	運動会	菖蒲見学 ドライブ	七夕会	花火鑑賞	アソカ 祭り		太鼓祭り 見物	紅葉狩り ドライブ	忘年会 クリスマス	初詣	節分 豆まき	ひな祭り	感染対策を行いながら、 日常と非日常を感じて頂く
					実施														
4		防災・減災	BCPの更新 防災訓練の実施	防災担当 (加藤)	計画	火災訓練	排水溝、 屋上掃除	水防訓練 土のう作り		防犯訓練	地震訓練				火災訓練			地震訓練	災害時の速やかな行動、 減災に繋げる
					実施														
5		感染症対策	感染症対策の通常 業務化	奥野谷 看護師 主任 リーダー	計画	感染症対策委員会の開催・感染対策の見直し・業務マニュアルの作成 BCP更新・勉強会										勉強会			感染対策通常業務 化・マニュアル作成。 更新
					実施														
6		看取りケア	お看取り後のカンファ レンスを行い感情の共有	ユニット リーダー	計画	ユニット会でのお看取り後のカンファレンスの実施(偲びカン ファレンス実施)													ケアを振り返り、経験 を共有することで、 個々の成長につなげる
					実施														
7		事故防止	事故・ヒヤリハットの収 集、分析、評価	施設長 主任 リーダー	計画	毎月施設部会にて集計、分析、報告													事故の種類、頻度、時 間、職員など、項目で の事故分析、事故の減 少。再発防止
					実施														
8		人材育成	法定研修及び勉強会 の実施	施設長 主任 リーダー	計画	感染、事故、 拘束、虐待	フライング	看取り	認知症	食中毒	倫理及び 法令順守		事故防止	感染症	高齢者虐待	褥瘡	身体拘束	認知症	介護力の向上及びご 利用者のQOL向上
					実施														
9		職場環境作り	オペレーションの見直し	主任 リーダー OP係	計画	随時、オペレーションの改善、業務改善													業務改善により働き やすい職場の環境づく り
					実施														
		職場環境作り	職員面接の回数を増 やし、・現状把握・課題 解決・振り返り・評価・ 目標設定を行う	奥野谷 主任 リーダー 教育担当	計画	新人面談													人材育成。やりがい・モ チベーションの向上に よる人材確保。介護の 質の向上
					実施														

※令和8年度目標については、部署の数字に合わせて随時変更してください(延べ、一日平均、人、件数、時間・・・等)

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 訪問介護

令和8年度目標:一月合計(480)時間

NO. 1

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
1		適正収益の確保	生産性向上の為の業務改善	堀川	計画	生活向上委員会の実施(1回/月)職員ミーティング内で行う 記録の簡略化(定型文・音声入力の活用)													業務を効率化をし効果の評価を行う
	実施																		
	目標値(480時間)への到達		堀川	計画	①訪問できるヘルパーの増員…120時間÷4週=30時間 30時間÷5日=6時間 月～金フルタイムで働けるヘルパー1名程度増													月20時間程度(週5件/月の提供増) ※8・12・2月は利用者減を想定(月40時間程度※提供増含め月20時間減)	
					②各居宅支援事業所への空き情報の配布。上部東地区の営業の強化。														
				365	385	405	425	405	425	445	465	485	465	485	465	485			
	登録ヘルパーの増員		堀川	計画	受け入れできる枠の確保の為、求人募集し増員を図る。													フルタイム1名程度の増員(週5件、)	
				実施															
	必要時の保険外サービスの提供		堀川	計画	介護保険では対応できない事を、必要に応じて保険外サービスを行う。													契約 受診介助	
				実施															
	保険外サービス利用料金の見直し		堀川	計画	適正な収入となるよう保険外サービスの利用料金の見直しを行う。サービス内容による料金。													新しい料金設定でサービスを開始する。	
				実施															
	事業所の加算等の状況確認		主:堀川 副:サ責	計画	自己点検													令和8年度の加算改定で可能な加算を算定する。	
実施																			
2	人材育成	介護技術・制度等の知識の向上	サ責	計画	ミーティングによる内部研修 外部研修への参加													勉強会の実施 専門性の向上	
				計画	法令遵守	接遇	感染予防	認知症	プライバシー保護	介護技術研修(移動介助)		緊急時対応 事故防止	防災(BCP)	虐待防止	ハラスメント	介護技術研修(食事介助)			
				実施															
		個別の研修計画に沿って介護技術や知識の向上を図る。	堀川	計画	内部・外部研修への参加(訪問介護事業所連絡会・県社協・オンライン研修・OJT研修など積極的に活用する)													個別の研修計画に沿った研修の参加	
実施																			
3	サービス内容の統一と標準化	介護保険更新時・提供内容と手順書を確認・、修正し共有する。	サ責	計画	手順書の見直し(計画書更新時・随時) サービスの適正についてミーティングにて検討する(サ責ミーティング)													均一かつ適切なサービスの提供	
				実施															

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名):

令和8年度目標:一日平均()人

NO. 2

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
4		働きやすい職場 環境の整備	年2回上司と面談を行 う	堀川	計画	面談							面談						面談の実施 振り返りと目標の設定 個別の研修計画の作 成
					実施														
5		事故防止	事故防止委員会の開催 事故防止の勉強会の実施 再発予防の検討 マニュアルの整備・更新	児玉	計画	事故防止委員会の開催(1回/月)			事故防止の勉強会の実施			再発防止策の検討(随時)			マニュアルの整備			事故の防止 事故防止策の共有	
					実施								緊急時対応・ 事故防止勉強 会						
6		緊急時対応	緊急時対応の勉強会の実施 利用者宅の緊急連絡先 の整備 マニュアルの整備・更新	児玉	計画	緊急時対応の勉強会の実施			ご利用者宅への緊急連絡先の設置・更新(担当者会で確認)			マニュアルの整備						ご利用者の安全 緊急時の冷静な対応	
					実施			マニュアルの整備							緊急時対応 勉強会				
7		感染対策	感染症予防委員会の開催 感染症予防の勉強会の実施 シュミレーション訓練の実施	白石	計画	感染症予防委員会の開催(1回/月)			感染症予防の勉強会・シュミレーション訓練の実施									感染予防 感染まん延時の冷静な 対応	
					実施			勉強会・シュ ミレーション											
			日常的な感染対策の 継続	全職員	計画	標準予防着着用を徹底する			アルコール消毒の徹底			出勤時の体温測定			随時感染予防策の更新。				
					実施														
			感染症まん延時の対 応	主:堀川 副:白石	計画	感染症BCP(業務継続計画)・マニュアルの随時更新をおこなう。												感染まん延時の業務 継続	
					実施								更新見直し						
8		虐待防止	虐待防止委員会の開催 虐待防止の勉強会の実施 ハラスメント等に関する勉強 会の実施	堀川	計画	虐待防止委員会の開催(1回/月)			虐待防止の勉強会の実施			指針・マニュアルの整備						虐待の防止	
					実施										虐待防止 勉強会	指針・マニユ アルの整備			
9		防災	防災の勉強会の実施 訓練(シュミレーション)の実施 BCPの作成・更新	堀川	計画	防災の勉強会の実施			訓練(シュミレーション)の実施			BCPの作成・更新(風水害・地震・火災)						ご利用者の安全 緊急時の冷静な対応 適切な報連相	
					実施									防災(BCP) 勉強会					
					計画														
					実施														
					計画														
					実施														

※令和8年度目標については、部署の数字に合わせて随時変更してください(延べ、一日平均、人、件数、時間・・・等)

令和8年度 事業所別活動計画 No.1

部門(事業所名): リハステージ郷

令和8年度目標:一單位(半日)平均(12)人

[illegible]

NO. 1

ゴール (目標達成)
ご利用者の満足度向上
専門性の向上 災害対策の強化
マシン指導力の向上 助言力の向上 ご利用者の機能維持向上
生産性向上 サービスの質向上
ご利用者の運動意欲向上
業務の効率化 可視化による認識共有 方法統一 有効なデスク時間の確保
人間性の育成 人材確保
ヒヤリ・事故の分析 転倒事故防止 在宅での安全確保啓発
感染予防対策の徹底 在宅での感染予防啓発
緊急時の冷静な対応 適切な報・連・相の実施 ご利用者・職員の安全確保
身体拘束・虐待防止 不適切ケアの未然防止
運動以外の楽しみの提供
季節感や特別感の提供 楽しい喫茶時間の提供
季節感や楽しみの提供 ご利用者の意欲向上・交流

令和8年度 事業所別活動計画 No.2

部門(事業所名): リハステージ郷

令和8年度目標:一単位(半日)平均(12)人

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月 (22日)	5月 (21日)	6月 (22日)	7月 (23日)	8月 (20日)	9月 (22日)	中間 評価	10月 (22日)	11月 (21日)	12月 (20日)	1月 (20日)	2月 (20日)	3月 (23日)
8		通所間 居宅の連携	各種情報・研修の共有 連携・相談	白石	計画	各法人内通所事業所の交流・連携を目指す。												
					実施													
9		適正収益の確保	新パンフレット作成 空き状況の発信	白石	計画	現利用者の居宅中心に情報提供機会を活用し、新規営業に繋げる。												
					実施													
			延べ人数の確保 (1単位当たり)	白石	計画	220	210	264	276	220	264		264	252	240	220	240	276
					実施													
			延べ人数の確保 (1日当たり)	白石	計画	440	420	528	552	440	528		528	504	480	440	480	552
					実施													
			登録実人数の確保	白石	計画	76	78	80	82	84	86		88	90	92	94	96	98
					実施													
			新規利用の確保	白石	計画	3	3	3	3	3	3		3	3	3	3	3	3
					実施													
10		地域との連携	地域行事参加 GOPARKとの運営推進会議の合同開催	白石 榎	計画				運営推進会議							運営推進会議		
					実施													
11		GoParkとの連携	GoParkとの効率の良い送迎の実施	白石 全職員	計画	同一方向への効率的な送迎と適切な人員配置の検討 無駄のない車輛の編成												
					実施													
12		ICTの活用	計画書等ソフト活用 入力方法の習得 マニュアル作成	全職員	計画	ICTを活用し、現状の計画書や加算対象となる書類等の移行・方法習得・マニュアル作成に取り組む。												
					実施													
13		災害時の 安全確保	災害時BCP 防災・防犯マニュアル の更新、確認、訓練	施設長 白石 榎	計画	サービス提供中における災害対策を身に着ける。在宅生活における災害時の安全について啓発を行う。												
					実施	防火訓練		水防訓練 BCP訓練			地震訓練		BCP訓練	防火訓練				地震訓練

ゴール (目標達成)
情報共有、連携 共通資源の活用 学びの共有
空き情報の明確化 事業所の評価向上
実利用数1単位12名
1日当たり登録30名 実利用数24名
今年度登録98名
定期的な新規利用確保
機能別通所の交流、相互理解 地域住民との交流 新規利用者の獲得
GoParkとも共同して実施
ICTの活用 業務効率化
災害対策の理解、協力 ご利用者・職員の災害時の 安全確保(準備)

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 特養なの花

令和8年度目標:一日平均(28.5)人

NO. 1

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)			
1		安定運営に向けて	入院率の管理と分析 事前面接の強化 次期入居者の準備 入所検討の情報共有	介護長 相談員 ユニットL	計画	入所検討														入院を防ぐケア実施 早期退院の調整 空床7日以内目標 ベット可動率の向上		
				実施																		
			介護報酬改定に伴う加算の選定 LIFE関連加算	介護長 相談員	計画	加算見直し・整備														介護の質の向上 専門性の向上 収入アップ		
				実施																		
			オペレーション見直し	介護長 相談員 ユニットL	計画	業務マニュアル・オペレーションの継続的な見直し 最適な役割分担を都度検討														役割りの明確化 職員間の連携強化		
				実施																		
2		働きやすい職場 環境作り 生産性の向上	生産性向上委員会実施 記録ソフトの入替準備	介護長 相談員 ユニットL	計画	生産性向上委員会(3か月毎)全職員に周知 / ICT機器 の検討・導入準備														業務内容の理解・方法の統一 生産性の向上 有休消化率の向上		
				実施	評価 振り返り	委員会		評価 振り返り	委員会			評価 振り返り	委員会		評価 振り返り	委員会						
			職員面談の実施 目標設定・評価	施設長 介護長	計画	面談														職員の人材育成 キャリアアップ		
				実施																		
3		専門性の向上	看取りケアを学ぶ 看取りカンファレンス	介護長 ユニットL 相談員	計画	お看取り後のカンファレンスの共有														看取りケアの意識共有 ケアの質の向上		
				実施																		
			感染対策委員会実施 感染マニュアルの更新 研修の実施	介護長 ユニットL 看護師	計画	感染予防委員会(毎月)全職員に周知 / 業務マニュアルの更新 / 研修・訓練(各1回)														感染予防対策の徹底 予防意識の向上		
				実施																		
			事故防止委員会実施 ヒヤリハット事例分析 研修の実施	介護長 ユニットL 相談員	計画	事故防止委員会(毎月)全職員に周知 / 研修の実施(年2回)														事故防止意識の向上 ヒヤリ・事故の減少		
				実施																		
			身体拘束廃止委員 虐待防止委員会実施 研修の実施	介護長 ユニットL 相談員	計画	身体拘束廃止/虐待防止委員会(3か月毎)全職員に周知 / 研修の実施(年2回)														身体拘束・虐待防止 意識の向上 ケアの質の向上		
				実施																		
						各委員会の研修実施 その他の勉強会実施	全職員	計画	接遇 倫理法令	食中毒	事故1	身体拘束 1・虐待	BCP 災害	医療		感染症 感染BCP	事故2	褥瘡	身体拘束 2・	ターミナル	認知症	職員のスキルアップ ケアの質の向上
							実施															
						季節行事の立案・実施	介護長 ユニットL 相談員	計画	花見	子供太鼓 台見物	喫茶	夕涼み会	喫茶	敬老会		地区太鼓 台見物	行楽弁当	クリスマ ス会	福引き大 会	節分	ひな祭り	入居者のQOL向上
							実施															
4		事業継続・安全 対策	BCPの更新(災害・感染) 各種訓練の実施	介護長 相談員 ユニットL	計画			水防訓練		災害BCP 訓練	防火訓練 地震訓練		感染BCP 訓練	防犯訓練				防火訓練 地震訓練	災害時の対応周知 減災、安全確保 感染拡大の防止			
				実施																		
5		地域との連携	運営推進会議実施 地域清掃に参加	施設長 介護長 相談員	計画	運営推進会議 地域清掃		運営推進 会議		運営推進 会議			運営推進会議 地域清掃		運営推進 会議		運営推進 会議	家族会 総会	地域に開かれた施設			
				実施																		

※令和8年度目標については、部署の数字に合わせて随時変更してください(延べ、一日平均、人、件数、時間・・・等)

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名):

令和8年度目標:一日平均(18.5)人

NO. 1

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)	
1		安定した運営 に向けて	事業収益を上げる 利用者一人当たりの単 価を上げる	高地	計画	各居宅事業所との情報共有を行い、相談から面接・契約・お試し利用までをスムーズに行い定期利用につなげ													月平均18.5人以上	
			ロング枠の満床 (10ベッド) 特養への入所をス ムーズに行う	高地	計画	ロング枠の情報共有を特養と連携する													収入アップ ベッド稼働率のアップ	
2		防災・減災 に向けて	定期訓練の実地 BCPの更新	全職員	計画	地震 訓練					災害 対策					地震 訓練			災害時の迅速な対応 ができ減災及び事業 を継続することがで きる。	
					実施															
3		やりがいと働き やすい職場環境 に 向けて	オペレーションの見直 し	高地 ユニットR 担当職 員	計画	随時、オペレーションの改善、業務改善													業務改善により働きやす い職場の環境づくり	
			職員面談による目標設 定・課題解決・振り返 り・評価	高地 ユニットR 施設長	計画	面談					面談								介護の質・人材育成 モチベーションの向 上	
			有給取得率の向上	全職員	計画														年10日以上有給消 化	
4		事故防止	事故・ヒヤリの集計と 分析	高地 ユニットR	計画	集積 分析												集積 分析	事故発生数の減少	
					実施															
5		感染対策 感染予防	感染症対策 BCPの更新 感染対策訓練	高地 ユニットR 全職員	計画	BCPの更新													勉強会 →	全体で共有し迅速 に始動できる
					実施															
6		救急時の対応	利用者情報の把握 救急搬送の手順共有	高地 ユニットR 看護師	計画	利用者情報の更新・共有を行い、救急搬送時の対応に備える。													緊急時の冷静な対応 適切な報・連・相の実施 利用者・職員の安全確 保	
					実施															
7		専門性の知識 の習得と実践	法定研修及び勉強会 の実施	高地 ユニットR 全職員	計画	身体 拘束		虐待 防止	法令 順守	ハラスメント 防止		危険 予知		食中毒	感染症	認知症		年度 振り返り	専門性の向上、知識 だけでなく、実践につ なげる	
					実施															

※令和7年度目標については、部署の数字に合わせて随時変更してください(延べ、一日平均、人、件数、時間・・・等)

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): デイサービスセンターアソカ園 令和7年度目標:一日平均 32人

部門(事業所名): デイサービスセンターアソカ園 令和7年度目標:一日平均 32人

[illegible]

ゴール (目標達成)
安定した利用人数 の確保
①新規利用者が 利用停止者を上回る ②アソカDSの認知度UP
稼働率、延べ 利用人数の向上
費用対効果を念頭に置い た 経営の実現
再発防止と周知徹底
無駄な時間の削減・ 生産性の高いチーム作り
適正に備品やケア用品 の購入ができる
チーム力の向上 人間力の向上
ご利用者の 幸福感向上
ご利用者の 特別感向上
ご利用者の生きがい、 やりがい等、自信の回復

[illegible]

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 居宅介護事業所アソカ園

令和8年度目標: 月平均123.4人

NO. 1

32

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
1		適正収益の確保	適正収益を確保するため 要介護担当者数の維持を図る	渡辺	計画	入退院の管理の徹底。入所や死去など減の場合は、新規獲得							要介護者の新規獲得と加算の算定、入院者の減少						ケアマネ職員の増に至るまでは、現状の担当数の維持を図り安定した収入の確保が出来る。病院関係者、地域包括支援センターとの関係の再構築を図り新規獲得の土台ができる。ケアマネ増員後、給付管理増につながる新規獲得を行う。来年度給付管理増に向けた準備が整備できる
					目標数	120	120	120	120	120	120		125	125	127	127	127	130	
					実施														
			要支援者担当人数の維持を図り、今後の要介護者の確保に努める。	川東	計画	要支援者の担当人数維持							要支援者の担当人数維持・確保						
					総人数	30	30	30	30	30	30		32	32	32	35	35	35	
					実施														
			十全総合病院、住友別子病院、愛媛労災病院、西条市民病院のMSWへの営業活動や包括支援センター、ランチへ働きかけ、要介護者の新規獲得に努める。	十河 平田 川東	計画	要介護者の新規獲得、病院・保険者主催の研修会への参加							要介護者の新規獲得、病院・保険者主催の研修会への参加						
					新規	0	0	0	0	3	3		5	5	5	5	5	5	
					実施														
			ケアマネ人員の増に向けた部署異動、新規採用を実施	渡辺 十河	計画	ハローワーク更新・部署異動依頼			ハローワーク更新・部署異動依頼				ハローワーク更新・部署異動依頼			ハローワーク更新・部署異動依頼			職員2名増(正職員1名 非正規又は兼務1名)
職員数	4	4			4	4	5	5		5	5	5	5	5	6				
実施																			
業務の優先順位の整理。新システムの導入に向けた準備と実施	十河 平田	計画	他部署業務にかかる時間の削減(電話、窓口対応削減)			新システム導入準備				新 システムの使用の安定化						ケアマネ業務に集中できる時間が確保できる。新しいシステムを使いこなすことが出来るようになる			
		実施																	
特定事業所集中減算にならないよう、各サービスの紹介率の確認や加算の確認を定期的に行う。	渡辺	計画				事業所自己評価		紹介率の確認			事業所自己評価			紹介率の確認		加算の所得や減算予防ができる。			
		実施																	
2	専門的知識と技術の向上	専 門 的 知 識 と 技 術 の 向 上	主任ケアマネ(管理者)による適切な教育機会(時間)の確保	渡辺	計画	管理者担当持ち人数の減→新規職員へ移行						同行OJTの開始(困難事例+月1人)教育方法の研修受講						適切な教育時間の確保が出来る。教育の方法を学ぶ時間の確保	
					管理者持ち人数	47	47	46	46	40	35		35	35	33	33	33		30
					実施														
			業務の標準化や優先順位の整理、報連相の精度を上げ、事業所としてのケアプラン作成を行う。また、内部研修や会議にて課題の改善策の検討を事業所全体で行っていく。	全員 (順次)	計画		虐待防止	BCP	感染予防	プライバシー	倫理・法令順守		認知症	バウハラ	感染予防	BCP	虐待防止		適切なケアプラン作成ができる。また、課題に対する改善策を事業所全体で考え、幅広い知識を得ることができる。
					内容	居宅勉強会(毎週)、生産性向上推進委員会(毎月)、虐待防止委員会(年1回:担当者)、身体拘束委員会(3か月毎:担当者)、各部署会議(担当ケアマネ要請時)、利用者情報共有、フェイスシート・プラン検討、事例検討(関係事業所)						居宅勉強会(毎週)、生産性向上推進委員会(毎月)、虐待防止委員会(年1回:担当者)、身体拘束委員会(3か月毎:担当者)、各部署会議(担当ケアマネ要請時)、利用者情報共有、フェイスシート・プラン検討、事例検討(関係事業所)							
					実施														
			地域包括支援センターや職能団体等が開催する法定外の研修やオンライン等を活用し各方面の研修に参加する機会を増やす。	全員 (順次)	計画	外部研修、居宅部会、病院、保険者主催の研修会、地域ケア会議、他事業所との共同事例検討会、ヤングケアラー、障がい者、生活困窮者、難病患者等への支援に関する知識などに関する事例検討会、研修等への参加(随時)						外部研修、居宅部会、病院、保険者主催の研修会、地域ケア会議、他事業所との共同事例検討会、ヤングケアラー、障がい者、生活困窮者、難病患者等への支援に関する知識などに関する事例検討会、研修等への参加(随時)						学ぶ機会を増やすことが出来る	
					実施														
3	災害に対しての準備、知識向上	災害に対しての準備、知識向上	感染症や災害・積雪・大雨・暴風時の注意喚起を継続する。また、独居や高齢者夫婦等、安否確認が必要な方や対策の必要な方たちの把握を行い災害時に備える。	全員	計画	利用者様へ注意喚起、対象者の確認、新型コロナウイルス・災害・積雪・大雨・暴風時のBCP(業務継続計画)の更新						利用者様へ注意喚起、対象者の確認、新型コロナウイルス・災害・積雪・大雨・暴風時のBCP(業務継続計画)の更新						感染症対策を通常業務として捉え、発生時や災害時でも適切なマネジメントが継続できるように備えておく。	
								対象者名簿の確認		シェイクアウト、火災訓練				対象者名簿の確認		シェイクアウト、火災訓練			
					実施														

※令和8年度目標については、部署の数字に合わせて随時変更してください(延べ、一日平均、人、件数、時間・・・等)

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名):地域包括支援センター協力機関(ブランチ)アソカ園

事業計画 No.	重点目標 との運動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
1		地域 ネットワーク 作り	地域主導の話し合い の場への出席	松木	計画	浮島 神郷 浮島 浮島 神郷 浮島													個別課題から地域課 題解決に向けての話し 合いの準備を行う。
					実施														
			民生児童連絡協議 会、見守り推進員連絡 協議会へ出席	松木	計画	神郷 見 高津 見	高津 民	神郷 民	神郷 見	高津 見	高津 民		神郷 見	高津 見	神郷 民	神郷 見 高津 民	高津 見		地域の実情把握と関係 機関の役割を周知し、 関係構築を行う。
					実施														
			地域イベントへの参加	松木	計画	神郷 文化祭													各団体との連携と地域 住民への取り組みの周 知を行う。
					実施														
		介護予防事業	健康長寿地域拠点づく り事業の実施 PPK体 操	川東	計画	担当10拠点すべてに対して、年1回の生活・運動機能評価、年2回の継続指導を実施。測定職員4名で対応。													地域主体での拠点運 営が継続していく。
					実施														
			地域からの要望に合 わせて介護予防今日 ⑦室を実施する	川東	計画	東楠崎 中郷 田の上 浮島(敬) 高津 浮島 松の木 田の上 高津													健康づくり、介護予防 への意識を高め、元気 で地域での暮らしを続 けることができる。
					実施														
			拠点づくりや教室に て、より顔の見える関 係構築を法人内の事 業所と連携し強化を図 る			連携の構築 参加 開始 ~													PPKや地域の話し合い の場、各協議体への担 当者の設定と参加の実 現。
		認知症啓発 本人・家族への 支援	認知症への理解を深 めるため、教育機関や 一般向けに認知症サ ポーター養成講座を実 施する	松木	計画	地域包括支援センターや協力機関と連携。キャラバン・メイトの派遣を依頼し法人で年1回以上認知症サポーター養成 講座を実施。													法人の認知症サポー ター登録者の把握。 在宅部門の事業所で 各1名以上の受講者を 達成。
					実施														
			認知症サポーターの 活動の場を作る。 ・認知症の人と家族の 会と連携	松木	計画	地域包括支援センター主導のチームオレンジと協働													認知症サポーターの活 動の場に参加。 家族との接点を持つ。
					実施														
			認知症の方を介護して いる家族交流の場の 再構築を図る ・認知症の人と家族の 会と連携	松木	計画	毎月第4木曜日13時より開催													どのような形で運用す るかを定め、来年度よ り実施可能な形を策定 する。
					実施														
			若年性認知症の方へ の支援	松木	計画	愛媛県若年性認知症支援コーディネーターと連携													事例検討会への参加、 情報共有により、日頃 からの関係づくりを行 う。
					実施														
2		ファシリテート スキルの向上	ブランチ学習会に参 する	松木	計画	毎月のブランチ連絡会後に開催													包括、ブランチでの事 例検討会や情報共有 により、ブランチ間での 連携を図る。
					実施														
3		介護の 普及啓発	教育機関等で、福祉や 介護の目的や意義な どを伝える活動を行う	松木	計画	福祉 学習 福祉 学習 福祉 学習													高齢者への接し方や福 祉の仕事のやりがいや 魅力を知ってもらう機 会とする。
					実施														

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): GoPark

令和8年度目標:一単位平均(17人)、一日平均(34人)前年度要介護欠席率を加味した数字になっています

NO. 1

34

事業計画 No.	重点目標 との運動	取組み事項	取組み内容	実施 担当者		4月 (22日)	5月 (21日)	6月 (22日)	7月 (23日)	8月 (21日)	9月 (22日)	中間 評価	10月 (22日)	11月 (21日)	12月 (20日)	1月 (20日)	2月 (20日)	3月 (23日)	ゴール (目標達成)			
1		適正収益の確保	延べ人数の確保 (1単位当たり)	伊藤	計画	325	316	355	363	321	349		349	330	327	313	313	363	1単位当たり登録18名 実利用数16名			
					実施																	
			延べ人数の確保 (1日当たり)	伊藤	計画	650	631	711	727	641	697		698	661	653	625	625	727	1日当たり登録36名 実利用数32名			
					実施																	
			登録実人数の確保	伊藤	計画	105	110	113	115	113	116		117	117	120	122	119	123	今年度登録120名 余剰登録の確保			
					実施																	
			新規利用の確保	伊藤	計画	5	5	5	3	2	5		2	3	5	5	2	5	スムーズな受け入れ体 制の確立 チラシの配布			
					実施	1回／月実績報告・取組の報告・取り組みのチラシの配布 HPのお知らせの作成2回／月																
					個別機能訓練加算の 維持	伊藤 藤田 全職員	計画	モニタリング・計画作成・評価の実施 多職種連携した計画の作成 適切な人員配置														個別機能訓練加算の 定期的な評価の実践
							実施															
					科学的推進介護加算 の維持	伊藤 藤田 全職員	計画	漏れのない継続的なデータの入力の実施														LIFEとの連携
							実施															
					グループ活動加算の維 持	伊藤 藤田 全職員	計画	モニタリング・計画作成・評価の実施 多職種連携した計画の作成 適切な人員配置														グループ活動加算の 定期的な評価の実践
							実施															
					定期的な評価・フィード バックの実施	藤田 全職員	計画	測定・評価	測定・評価	測定・評価	研修	測定・評価	測定・評価		測定・評価	測定・評価	測定・評価	測定・評価	測定・評価	測定・評価	全員がAYUMI EYEの 測定・フィードバックが できるようになる	
							実施															
					適切な人員配置 リハステージ郷との連 携	伊藤	計画	職員が余剰とならないように、リハステージ郷と連携し、適切な人員配置を行う														リハステージ郷との連 携
							実施															
2		業務の適正化	ヒヤリハット・事故の共 有・確認	伊藤・藤 田 全職員	計画	1回／月委員会の実施 当月のヒヤリハット・事故を振り返り、再発防止に努める														再発の防止と周知徹 底		
					実施																	
			業務の見直しと業務の 属人化の防止	伊藤 全職員	計画	業務の見直し 適宜マニュアルの作成 業務の見える化														生産性の高いチーム 作り		
					実施																	
3		専門性の向上・ 質の高いサービ スの提供	専門性の向上	伊藤 全職員	計画	法令遵守	個人情報	BCP	感染症	虐待の防止	身体拘束		認知症	感染症	BCP	事業所評価	事業計画	事業実績	勉強会の実施 リハステージ郷とも共 同する			
					実施																	
			生産性向上のための 業務改善の取り組み	伊藤 全職員	計画	委員会の実施	委員会の実施	委員会の実施	委員会の実施	委員会の実施	委員会の実施		委員会の実施	委員会の実施	委員会の実施	委員会の実施	委員会の実施	委員会の実施	課題抽出 原因分析 解決策立案 実施・評価			
					実施																	

※令和8年度目標については、部署の数字に合わせて随時変更してください(延べ、一日平均、人、件数、時間・・・等)

42

令和8年度目標:登録者15名以上(平均14.5以上) 通い平均9名 泊り平均6名

NO. 1

[illegible]

[illegible]

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): かなふる中郷

令和8年度目標:入居者数 月平均15名以上

NO. 1

[illegible]

[illegible]

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): 訪看 satoiro

令和8年度目標 登録 15名

訪問件数 月80件(看多機20件)

1日あたりの提供を3時間提供を目標

NO. 1

事業 計画 No.	重点目 標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
1		訪問看護現場 業務の確立	介護＆医療報酬改定 に伴う加算の算定	全員	計画	算定可能な加算の情報を集め、随時加算を算定していく。※※今年度医療保険報酬改定 次年度算定加算の見直し													改定に対応する。
					実施	協会の勉強会参加													
2		訪問看護の業務フ ローの確立		全員	計画	毎月看護スタッフミーティングを実施。運営、業務のPDCAを実施し、業務を確立させマニュアル化する。													基本的な業務マニユ アルが完成する。
					実施														
3		訪問看護ス テーション	新規登録者の確保 目標	宮本	計画	受け入れのための地盤固め、広報活動強化	新規受け入れ3名 (一人38,000円/月とする)		新規受け入れ3名		新規受け入れ3名		新規受け入れ3名		新規受け入れ3名			15名から20名の登録。1日3時間分のサービス提供。	
					登録人数	2人 現在 (145,000円/月)	5人 (約26万/月)		8人 (約37万/月)		11人 (約48万/月)		14人 (約60万)		17人 (約71万/月)				
			実施																
4		satoiroを地域 に知ってもら い、登録者を 15名確保。	広報活動	全員	計画	パンフレット作成 看多機含めたSNS発信		通年:毎月10日から20日は営業活動(毎月5か所は回る)・市内の勉強会、研修への積極的な参加とそこでの広報活動 居宅介護支援事業所への挨拶回りを訪問の間を利用し月に5件以上目標(毎月空き状況を紙媒体で作成持参する)										インスタフォロワー 1000人	
					実施														
5		地域での信頼の確立 (確実な報告)		全員	計画	看多機を含めた、現在の利用者を介して関わっている訪問診療医、居宅への確実な書類処理、毎月の報告を丁寧に遅れることなく実施し、信頼を確立する。 現在の利用者への誠実な対応と関わりにより、信頼を確立する。													各月見直しと入力が出 来ている。 漏れなく算定が出来る。
					実施														
6		新規スタッフの確保		全員	計画	目標:正職員看護師採用1名、パートセラピスト1名採用 パート事務スタッフ1名 看護学校、理学療法の学校の訪問＆デイケア、デイサービス訪問、ハローワークへのアプローチ、SNS発信、地域行事への参加													目標採用ができる。
					実施														
7		生涯学習の支援		宮本	計画	①毎月30分以上の1on1実施 ②進みたい方向、習得したい技術を把握し、学習のサポート情報提供。													やりがい感を持ててい る、という発言が聞か れる。
					実施														
8		働きやすい職 場環境	有休の消化	全員	計画	①有給を毎月付与。 ②夜勤明け2連休確保する勤務表作成。 ③ 有休を含めた3連休を年間2回以上 次年度目標取得率の設定													スタッフのプライベート が充実する
					実施														
9		業務伝達のマニュアル 作成作成		全員	計画	①業務でのつまずきを反映した業務マニュアルの作成。(マニュアル媒体を含めた検討)													各種マニュアルの完 成。入職者への業務伝 達がストレスなく実施で きる。
					実施														
10		生産性向上		全員	計画	①各自集中できる事務時間が確保できる。 ④AIの活用 ②チームスの活用 ③効率的な業務の検討を毎月ミーティングで行う。													なんとなくやりにくいと 感じる業務の改善がで き、なくなる。
					実施														

事業 計画 No.	重点目 標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
11		質の高い サービスの提 供	ミーティングの実施	全員	計画	かんたきと合同で、毎月1度ミーティングにて、情報共有と業務改善を行う。法定研修の実施。各自参加した勉強会の共有。													スタッフの方向性の統一
					実施														
12			研修・勉強会への参加 と情報共有	全員	計画	①在宅医療テスト受験 ② 各自勉強会研修会へ2回は参加し、情報共有する。 ③新人職員は訪問看護基礎研修の受講													前年度より医療テストの点数が上がる。 研修参加できる 目標が持てる
					実施														
13			接遇の向上	全員	計画	①接遇の研修への参加 ②お互いに肯定しあう ③笑顔													笑顔で訪問でき、苦情0。
					実施														
14		防災対策	BCPの検討	宮本	計画	① BCPの策定の見直し ② 机上シミュレーションの実施													年2回避難訓練が出来ている。
					実施														
15		事故防止	事故・ヒヤリハットの 収集、分析、評価	宮本	計画	① 毎月集計、分析、報告 ②次年度スタッフから担当者を決め業務移行													事故の種類、頻度、時間、 職員など、項目での事故 分析、事故の減少。再発防 止
					実施														

部門(事業所名): ケアハウス白寿

令和8年度目標： 延べ 26 人／月

NO. 1

[illegible]

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)	
9		各種研修	法定研修の計画・実施 外部研修へ参加	主)久保 全職員	計画	専門職としての知識の習得、苦手克服・向上のため、学びの機会を持つ。(法定研修:別紙計画)													社会人としての向上 専門職としての向上	
					実施	法令順 守	感染1 食中毒	身体拘束1	事故1 虐待1	ハラスメント			認知症 医療	感染2		身体拘束2	事故2 虐待2	事業計画		
10		各種委員会	感染対策・事故防止・身 体拘束・虐待防止・各指 針、マニュアル確認	主)久保 柴田 全職員	計画	他部署と情報共有を行いながら、検討事項や対応確認を行い、予防・改善に務める。													事故の未然防止、適 切なケアの統一・安心 安全の提供	
					実施	事故防止	事故防止	事故防止	事故防止	事故防止	事故防止		事故防止	事故防止	事故防止	事故防止	事故防止	事故防止		
						給食	給食	給食	給食	給食	給食		給食	給食	給食	給食	給食	給食		
							感染対策			感染対策			感染対策			感染対策				
						身体拘束・ 虐待防止			身体拘束・ 虐待防止			身体拘束・ 虐待防止			身体拘束・ 虐待防止					
11		各種訓練	居室内の非常時対策 災害・感染症想定訓練 各マニュアル確認・更新 各BCP整備・更新	主)久保 柴田 全職員	計画	災害・感染症発生時の初動を確認し、職員・入居者の安全を確保する。各BCPを整備する。													災害対策の共有 感染症対策の共有 発生時の連携 安全の確保	
					実施			感染BCP		災害BCP					感染BCP	災害BCP				
					計画	入居者が主体的に、安心安全な生活ができるよう、職員と共に学びの機会を持つ。														
			入居者参加型の訓練 入居者定例会での周知	奥野谷 久保	実施	感染訓練	感染周知	台風対策	水害訓練 水害周知		防火訓練 防火周知 地震訓練 地震周知			感染訓練 感染周知	火災対策			防火訓練 防火周知 地震訓練 地震周知	※アソカ特養との 連携強化	
12		感染症対策	感染予防策の継続 情報収集 物品の確認・補充 マニュアルの更新	全職員	計画	感染状況に応じて適切かつ迅速な対応がとれるよう準備を行う。関係機関との連携を図る。													感染症発生未然防止 発生時の迅速な対応 蔓延防止	
					実施															
13		緊急時対応	救急搬送先の再確認 特養夜勤者との連携	全職員 特養夜勤者	計画	急変時、落ち着いて対応できるよう、情報収集・マニュアル確認を行う。本人・ご家族の意向確認を行う。													救急時対応の統一 迅速な対応 医療との連携	
					実施															
14		適正収益確保	入居相談・見学対応 待機者の現況確認 入退居に係る業務分担 定期的な空室案内	主)久保	計画	平均入居者数26名を目指し、入退居に関する準備を円滑に行う。													空室の短期化 収益改善	
					実施	待機者への予約継続・終了の確認連絡を行う。 相談者の情報収集・見学者の対応を行う。退居から次期入居までの準備を行う。														
15		環境整備	館内・館外の清掃 木の消毒・除草 整理整頓 掲示物更新	全職員	計画	整理整頓を心掛け、各職員が分担して掃除を行う。													快適な空間の提供	
					実施	設備点検を行い修繕を行う														
						換気・消毒・室温管理														
						除湿器設置							加湿器設置							
						蛇忌剤	エアコン 掃除	エアコン 切替確認	除草剤		ワックス		除草剤	エアコン 切替確認	ベランダ 清掃	消毒強化		除草剤		

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): ほの花

令和8年度目標: 一日平均(17.6)人

NO. 1

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
1		ユニット間で協 力したケア	ユニット間で協力が出来 るようスタッフの行き 来を計画的に実行す る。	全員	計画	配属から3ヶ月を超えたスタッフは両ユニットでの勤務が可能になるように勤務の調整、と業務の理解、習得を目指す。 ミーティングをユニット合同で実施。													毎月、話し合いの実施 と議事録の作成ができ る。
			介護報酬改定に伴うそ れぞれの加算算定の 見直し。	管理者 計画作 成	計画	実施			実施						実施				算定できる加算を確実に 算定できる。
			空所期間の削減。待機 者の確保。入所検討会 に参加。定期的に申込 書の確認を行う。	管理者 計画作 成	計画	1ヶ月に一度検討会実施。待機者の整理や面接状況をまとめる。担当者による申込者の現状確認・面接を行う。半年毎に市内の居宅介護支援事業 所にGH対象者いないか連絡する。法人内各部署へも対象者の調査実施。年に一度市への待機者報告行う。													常に待機者が3名以上 確保できている。 空所～10日以内で次 の入所が出来る。
			入院時、早期退院。 病院看護、Dr、ソーシャル ワーカーに出来る事の範 囲を伝え、早期退院の意 向を伝える。	計画作 成	計画	入院時、ご利用者様の状態をみつつ早期の退院を目指す(～2週間)家族、医療との話し合いを入院後～定期的に行っていく。ほの花 に戻ってくる事が難しい場合は早期に転居先等について検討を行う。													入院時目標期間での退 院が行えている。 転居等に関してもご家族 とスムーズに話し合いを 行える。
			重度化した入居者様のご 家族様に転居の意向の確 認を行っていく。 費用、ケアの面での説明 を行う。	管理者 計画作 成	計画	転居、退去の説明・チェック項目の説明。 重度化、転居を勧める事が見込まれるご利用者様には前もってケアプラン説明時に様式を用いて説明を行う。													ケアプランの説明、ご 本人の状態報告が行 え、適時記録等に残せ ている。
					実施														
3		LIFEの入力	入居者の心身の状況 等のアセスメントをとり 活用し算定できる。	計画作 成	計画	3ヶ月毎にLIFE、アセスメントの入力を実施。													LIFE関連加算の算定 ができる。
					実施														
4		感染対策	感染対策勉強会の実施 感染対策訓練の実施 BCPの見直し	管理者 担当ス タッフ	計画				訓練	BCP 見直し							訓練	BCP 見直し	感染発生時、早期対 応・拡大防止が出来 る。
					実施														
5		働きやすい職場 環境の整備	①業務の効率化を図り 有休の消化を行う。 定期的にオペレーショ ンを見直す。	管理者	計画	人員数、勤務調整を行う。公平に有休の割り当てを行う。職員の異動、離職等がある場合にはユニット編成の変更。勤務職員の変動により、オペ レーションの見直し変更する。年5日以上の有休消化。													年間5日以上の有休消化 が出来る。
			②3ヶ月に一度管理者が各ス タッフと面談機会を設ける。	ユニット リーダー	計画	椿ユニット		なでしこ ユニット	椿ユニット		なでしこ ユニット	椿ユニット		なでしこ ユニット	椿ユニット		なでしこ ユニット	椿ユニット	スタッフ、リーダーが準 備を行い、スムーズに 面談を行える。
					実施														
6		防災対策	災害時に備えた訓練の実 施。設備強化。 実用性のある訓練の実 施。 BCPの見直し。	ユニット リーダー 防火管 理者	計画	年2回、防災訓練を実施し訓練の振り返りを行う。													職員の2/3が訓練に参 加でき、各職員が必要 な知識、対応方法を実 施・振り返りを通して理 解出来ている。
					実施			防災訓練 計画作成	防災訓練	BCP 見直し			防災訓練 計画作成	防災訓練	BCP 見直し				

事業計画 No.	重点目標 との連動	取組み事項	取り組み内容	実施 担当者		4月	5月	6月	7月	8月	9月	中間 評価	10月	11月	12月	1月	2月	3月	ゴール (目標達成)
7		運営推進会議の 実施	2か月に1回開催。	管理者 運進担当 者	計画	開催		開催		開催			開催		開催		開催		家族、地域に情報の伝 達や活動の報告が行 える。
					実施														
8		専門知識と技術 の向上	法定研修をミーティ ング時に行う。	全スタッ フ	計画	虐待防止 コンプライアンス	感染症	ケアプラン	認知症	身体拘束			認知症	感染症	緊急時の 対応	ターミナル	認知症	身体拘束	必要な基礎知識を学 びケアに活かす事がで きる。
					実施														
9		アクティビティプ ログラムの充実	①外出行事の計画、実 施。 案が出た場合には別途 計画。	行事担当	計画	花見		菖蒲見物					祭り見物	紅葉狩り		初詣	梅見物		所定月に外出行事 の計画、実施、評価 が行えている。
			②全体行事、ユニット 行事の実施。	行事担当	計画	花見	ドライブ		夏祭り	花火大会	敬老会		運動会	文化祭	餅つき 忘年会				各ユニット行事作成 担当者、希望者が行 事の実施を行っている。
					実施														
10		質の高い介護 サービスの提供	①生産性向上委員会 の設置	管理者	計画	毎月のミーティング内で実施。													業務の効率化により生 産性の向上。
			②ご家族へのケアプラン 説明、生活の様子の 報告を担当職員が行 う。	全員	計画	ケアプラン更新月に担当者がご家族に連絡し、説明日の日程調整。希望の聴取、質問を担当者がご家族から確認してみる。検討事案等あ る場合には管理者へ報告を行う。													更新月ご家族への連絡が行えてい る。 面談時等に説明を行った担当者へ のフィードバック、振り返りを行え ている。
					実施														
11		施設環境の整備・管理	定期的に点検を行い、 改善が必要な個所につ いて対応する。 別途修繕計画の作成。	環境整備 担当	計画	半年に1回屋内外の点検実施。改善が必要な場合、修繕方法等検討する。年間計画を立て実施。													施設環境を良い状 態で維持できる。 計画的に環境整備 が出来る。
					実施		点検							点検					

令和8年度 事業所別活動計画

部門(事業所名): ひまわり乳児園

NO. 1

[illegible]

[illegible]